

2013 年 4 月 1 日(月)

春期講習会最終日の「開倫塾模試」で１００点を取ろう

ー学校の教科書はどんどん予習しようー

開倫塾

塾長 林 明夫

春期講習中に、効果の上がる学習方法を Q and A の形で少しずつお伝えします。

Q 1 : 少し冷えますが、いよいよ今日から 4 月に入りました。「理解」とは何かのお話の中での「予習」のお話は面白かったですね。新学年には学校で用いる教科書が配付されます。この新しい教科書は「予習」したほうがよいのですか。

A : (1)教科書を受け取ったその瞬間から、教科書は皆様のもの・所有物となりますので、誰に遠慮することなく、小説を読むようなつもりで 1 ページから最終ページまでを猛スピードで 1 回読み終え、これから 1 年間でどのような内容を学習するのかを実感してくださいね。

(2)少なくとも 1 学期の学習範囲は、できるだけ早めに全教科の教科書を 1 回は読んでくださいね。

(3)1 学期の最初の定期テスト範囲の内容は、全教科とも「予習ノート」を作り、教科書の大切なところをノートにメモし、わからないことばの意味を辞書で調べ、その調べた意味をノートにメモした上でその場で正確に覚えてください。また、例題や練習問題も問題文をノートにメモし、解答だけでなく途中の計算もノートにメモし続けてください。

(4)数学・国語・社会・理科は、新学年の教科書を何回も何十回も「音読」することをお勧めします。英語は教科書用の「CD」を買い求めて、スラスラとよく読めるようになるまで何回も何十回も繰り返し「発音練習」をしましょう。英語の教科書の本文を 100 回、200 回と繰り返し「音読練習」し、500 回ぐらいまでひたすら「音読練習」を繰り返して日本一の「同時通訳」になった国弘正雄先生という先生もいらっしゃいます。ですから、私は「音読練習 500 回」をお勧めします。

(5)「ゆとり」は、学校の教科書の徹底的な「予習」で生まれると確信します。まずは、学校の教科書をスミからスミまで「予習」して、すべての教科のわからないことばの意味調べを終え、教科書をスラスラと読めるまでにし、また、大切なことばは教科書の書体、つまり楷書(かいしょ)で正確に書けるまでにします。そして、教科書・教科書準拠の問題集・ワークブックにあるすべての問題の問題文をノートに書き写した上で、途中の計算も含めて解答を書き記します。これらをすべてし終え、よくわからないところに「印」を付けてから授業に臨む、これが「予習」です。

(6)各地域のトップ高校への進学を目指す方、大学や医療・IT 系の専門学校への進学を目指す方、進学のとくに奨学金の給付や貸与を目指す方は、一日も早く新学年の教科書の全ページの「予習」をすべてし終え、自分自身の力で「ゆとり」をつくり出しましょう。

(7)勝負は、教科書を受け取った日からゴールデンウィークが終わる5月6日(月)までのほぼ1か月です。この間にすべての教科で新学年の教科書をどこまで「予習」できるかで、新学年の成績が決まります。今までの学年の成績と比べて学校成績・学校内順位・模試の偏差値を飛躍的に上昇させたい人は、ゴールデンウィークが終わる5月6日(月)までに、1学期の学習範囲の「予習」を終了させましょう。少なくとも1学期の最初の定期テスト範囲までの「予習」をゴールデンウィーク終了日の5月6日(月)までに終了させましょう。

Q2：この春休みは何をしたらよいのですか。

A：(1)春期講習会最終日に実施される「開倫塾模試」で100点が取れるように、春期講習会テキストをスミからスミまで身に付けてください。

(2)多くの学年で、開倫塾の春期講習会テキストは、新学年に入るまでに前学年までの復習を徹底的に行おう・少しだけ新学年の先取り学習をしようという意図で作られていますので、「開倫塾模試」で100点を取るために十分な準備をすれば、新学年に入る直前の最高の学習ができます。

Q3：どのようにすれば春期講習会最終日の「開倫塾模試」で100点が取れますか。

A：(1)「理解」→「定着」→「応用」の「学習の3段階理論」の第2番目の「定着」を徹底的に行うことです。

(2)「定着」とは、一度うんなるほどとよく「理解」したテキストや問題集の内容をスミからスミまですべて身に付けることです。

(3)そのために私がお勧めしているのが、「定着のための3大練習」です。

(4)「定着のための3大練習」の第1は、「音読練習」です。開倫塾の春期講習会テキストと授業ノートをスミからスミまで大きな声で何回も何十回も何百回も読み、一語残らず覚えること・何も見ないでスラスラと口をついて出てくるまでにすることです。そこまでできないという方は、テキストや授業ノートがスラスラとよく読めるようになるまで声を出して読む練習を繰り返すことです。これを「音読練習」といいます。全教科でこれを実行すると、絶大な効果が出ます。

(5)次に行うべきは、「書き取り練習」です。何も見ないでスラスラと言えるようになった内容を紙に書いてみる。書けない語句や文章があったら、教科書の書体で正確に書けるようになるまで何回も何十回も書く練習をする。これが「書き取り練習」です。

(6)「定着のための3大練習」の最後に行うべきは、「計算・問題練習」です。開倫塾の春期講習会テキストや授業ノートの中の計算や問題を1問も残さずやり直す。やり直して、その計算や問題の解答がどのように導かれるかがよく「理解」できたものは、計算や問題を見た瞬間に条件反射でパッパッパッと正解が出るまでにする。これが「計算・問題練習」です。

(7)例えば、 $2 \times 3 = 6$ という計算で「2かける3とはどのような意味か」、「なぜ2に3をかけると6という『正解』になるのか」がよくわかった・「理解」できたら、「 2×3 」という計算を見た瞬間にパッと「6」という正解が条件反射で出るまで何回も何十回も「計算練習」をする。これが「計算練習」です。

(8)例えば、「日本国憲法の 3 大原理は何か」「答えは、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義である」という問題文と正解の問題ならどうするか。「日本国憲法とは何か」、「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義とは何か」がよくわかった・「理解」できたら、その問題を見た瞬間にパッパッパッと 3 つの正解が出るまでにする。問題と 3 つの正解が正確に「楷書で書ける」までにする。これが「計算・問題練習」です。

(9)「練習は不可能を可能にする」という格言があります。開倫塾の春期講習会テキストを用いて、春期講習会最終日に「開倫塾模試」の問題が配付されるその直前まで「定着のための 3 大練習」を行い、「学習の 3 段階理論」がどれくらい役に立つかを実感して新学期を迎えてください。

Q 4 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)開倫塾の目的・社会的使命(mission ミッション)は、塾生の皆様に開倫塾に在籍する間に「一生役に立つ学習の方法」を身に付けてもらうこと、「自己学習能力(自分自身で学習する能力)の育成」です。

(2)「理解」→「定着」→「応用」の「学習の 3 段階理論」は 1 つの学習の方法ですので、ぜひ参考にして頂きたいと希望いたします。

(3)学力が向上すると、「人生の選択肢」が大幅に広がります。希望する学校に進学できます。奨学金の給付や貸与も受けられます。希望する仕事に就く機会(チャンス)も増えます。また、様々な活動をするときに、学校で今学習している教科はすべて役に立ちます。一生役に立ちます。それには学習の仕方を身に付けることが必要です。ぜひ、開倫塾で学習の仕方を少しずつでも身に付けてくださいね。

(4)開倫塾では、春期講習会が終了すると同時に「1 学期の最初の定期テストで全教科 100 点満点を取り、校内順位を大幅に上げよう」の大キャンペーンに入ります。このキャンペーンを通して「学習の 3 段階理論」を紹介し、皆様に十分に御理解頂いた上で、皆様にとって役に立つことが少しでもあれば、その中の 1 つでも身に付けて頂けるように努力いたします。

(5)開倫塾に入塾して自分なりの「学習の方法」が身に付き、学力向上に役に立ってよかった・人生の選択肢が広がってよかったと塾生や保護者、地域の皆様から評価して頂けるように、努めたく存じます。

この私の文章もそのような願いから書かせて頂いているものです。第 1 回目の分から読み直して頂き、参考にしてくださいね。

なお、私が書かせて頂いた文章の多くは、開倫塾のホームページ(www.kairin.co.jp)の「林明夫のコーナー」で御覧頂けます。ぜひ一度のぞいてみてください。

以上